

日本地球電気磁気学会会報(49号)

1971年3月30日

日本地球電気磁気学会  
連絡先 東京都文京区弥生2丁目11の16

郵便番号 113

東京大学理学部地球物理学教室内

電話 03-812-2111 内線 6476

振替 東京 4860番

学会役員改選並びに新運営委員会務分担

第6期(昭和46年4月-48年3月期)役員選挙の結果、次の会員各位が新たに委員長、評議員及び運営委員になりましたので御報告申し上げます。(敬称略、得票順)

委員長	福島直				
評議員	大林辰蔵	永田武	関戸弥太郎		
	前田憲一	前田坦	中田美明		
	上山弘	太田征次郎	加藤愛雄		

(次点 柳原一夫)

なお、力武常次第5期委員長は、規約9条により自動的に次期評議員になります。

運営委員	等松隆夫	西田篤弘	行武毅		
	小嶋稔	斉藤尚生	松浦延夫		
	国分征	玉尾孜	木村磐根		
	近藤一郎				

(次点 小口高)

新運営委員の会務分担は次の通り決定致しました。

総務	小嶋	学会連合	西田
庶務	等松、玉尾	渉外	西田、近藤
会計	小嶋、等松	講演会	国分、松浦、斉藤
会誌	木村、行武、松浦	会報	玉尾

尚、学会誌の編集はしばらくの間は引き続き加藤進会員にお願いすることになっておりますので、投稿原稿は加藤会員宛にお送り下さい。

第49回総会並びに講演についてのお知らせ

会場：東京都小平市喜平町1,013 〒187  
建設省建設大学校 Tel (0423)21-1541  
日時：昭和46年6月1日(火)～4日(金)  
総会議：第49回総会に議事申込み或いは議案提出なさる方は、5月  
事申込 10日(月)までに、福島直委員長宛に下記の要領でお送り下  
さい、(書式は注意)

提案者氏名 議題 提案理由および要旨

講演会論文発表申込

第49回講演会一般講演の申込用紙を同封いたしますので所要事項記入の上、4月24日(土)までに下記宛お送り下さい。

尚、講演予稿集の原稿は同じく同封の規定原稿用紙を使用して、5月10日(月)必着で、下記宛お送り下さい、そのまま、ゼロックス印刷となりますから、必ず黒インク若しくは、黒ボールペンを使用して丁寧にお書き下さい。書き損じた場合は、用紙を当学会事務所で再交付いたします。

総会議事申込、講演申込、予稿原稿送り先

東京都文京区弥生2-11-16 〒113

東京大学理学部地球物理学教室内

日本地球電気磁気学会事務所

### 田中館賞受賞者推薦について

昭和46年6月第49回総会において田中館賞受賞者を推薦される方は、下記の書類を委員長或いは、当学会事務所宛に5月10日(月)までにお送り下さい。

1. 推薦調書(著者名、論文名、推薦理由、論文リスト、推薦者氏名)
2. 添付論文別刷

以上、各12部を郵送又は使送して下さい、書式は自由です。

### 今後の学会誌のあり方について

すでに前回の会報でもお知らせしました様に、昨年度における印刷費の驚くべき値上げのため、会誌発行が危機的状況にあります。

因みに昭和45年度予算案には印刷代として240万円計上致しましたが、実際のコストは実に予算案を100万円近く上廻る結果となってしまいました。

又、学会誌発行は、現在まで、運営委員を中心とする会員及びその所属する研究室職員の奉仕により行って参りました。しかし近年における投稿論文の増加、特に、海外投稿論文の著るしい増加は、学会の発展のためには大変喜ばしい事ではありますが、反面、会員やその所属研究機関だけで行って来まして会誌発行をますます困難なものとしつゝあります。この事は、年間\$3,000を上廻る海外売上げ金の回収及びこれに伴う200名を越す海外購読者との事務連絡の一事を御考えいただけるだけでも充分御理解いただけるものと思います。

以上の様な状況で、学会誌発行を今後も支障なく続けるためには、学会誌編集のための専門事務担当者(複数)の委嘱、それに印刷費及び人件費捻出のためには、現在の行き方をそのまま続ける限り大幅な会費値上げが避けられないこととなります。運営委員会は、この様な困難に直面し、過去半年にわたり出来るだけ会費の値上げ等、会員への負担を少なくする方策を探してま

いりました。半年にわたる運営委員会の研究の結果、現在考えられる最善の策として下記のような案を用意してみました。

1. J. G. G. の発行事務をすべて東京大学出版会に委嘱する
2. 以上の場合、J. G. G. の編集責任者はあくまで日本地球電気磁気学会であり、又、J. G. G. の内容に関する編集方針は今までと変わらない。

編集委員 (refree) 、その他はすべて学会が責任を負う。

3. 海外購読者に対する購読料は現在の約2倍程度に値上げする。
4. 学会費納入の国内会員には、今迄と同様無料でJ. G. G. を配付する。

以上がこの大略の方針です。学会誌発行は学会の中心的機能のひとつでもあります故、更に東大、出版会と契約についての細目を協議し、原案をつくり、6月の総会において皆様の御賛否を伺いたい所存です。今回は取りあえず、学会の直面している危機的状況を皆様に訴え、かつ、運営委員会のこれに対する方策につき報告させていただきました。

無論最終決定は、総会で行われるべきものと思いますので、6月の総会まで会員の皆様も上記案等につき、種々御検討いただきたく存じます。

運営委員会

#### 第15回 IUGG 総会への出席希望者に

第15回 IUGG 総会は1971年7月30日-8月14日(但し実質的には8月2日-14日)にソ連モスクー市で開催されます。この会議に出席を希望される方はできるだけ早く Registration Form を先方に送っておく必要があります(先方では4月1日以前にと希望していますが、今からでも急いで送っておけばよいと思います)。registration fee 22\$ (同伴家族は半額)は6月1日以前に別途送金するようにとのことであります。書式などについては学会事務所にお問合わせ下さっても御返事できるように

しておきます。

モスコウのIUGG会議に出席されたい方々のために、現在計画  
ます団体割引として、次の二種類がありますことをお知らせして御参  
します。

i) エアフロート機を利用するもの

出発日 8月1日または7日 12時50分東京発

帰国日 8月12日または17日 09時35分 東京着

申込先: 〒105 東京都港区新橋2-21 (新橋駅前ビル2号

日本交通観光株式会社 館)

国際会議課担当者 清水 吉 孝

電話 (03)572-5207~8

ii) 日航機を利用するもの

出発日 7月31日 10時10分 東京発

帰国日 8月16日 10時55分 東京着

申込先: 〒101 東京都千代田区美土代町7 (YMCAビル)

東京国際旅行社 営業部第1課長

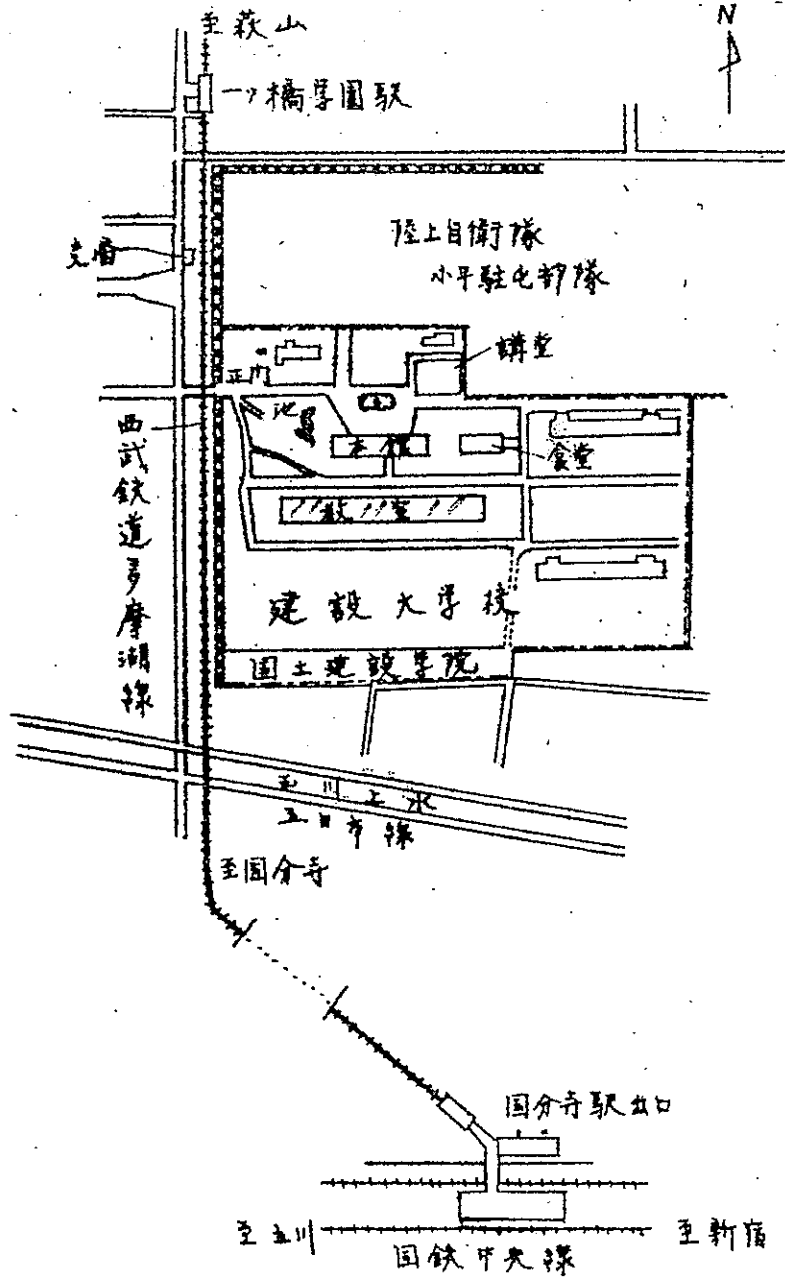
山 本 保

電話 (03)293-7991(代)

ソ連への旅行は、ソ連国営旅行社との事前の打合わせに手間どります関係  
上、できるだけ早く申込をしていただくことを両社とも希望しております。  
費用は航空運賃が20万円弱、滞在費は全期間滞在の場合ファーストクラス  
で約9万円かかります。また船、汽車などを利用しての旅行もできますので、  
希望者は各自上記旅行社に御相談下さい。

IUGG総会に出席される方々は、恐縮ですが、学会事務所あて電話で結  
構ですからその旨お知らせ下さい。先方に日本の学術会議地球物理学研究連  
絡委員会からdelegate 一覧表を近々送付しておく必要がありますので、  
その際にお名前がもれないように致したいと思いますので御協力下さい。

会場案内図



- ・ 国分寺駅から西武多摩湖線に乗りかえ  
1 駅目の「一ツ橋学園駅」下車
- ・ 建設大学校構内では、屋外での喫煙に対し  
守衛が厳重な注意を払い、万が一の御協力下さい。

お知らせ

今期総会では、学会機関紙(J.G.G.)の編集ならびに出版の変更に関する重要な議題が提出されるので、是非、御出席下さい。その際、同封致しました契約書(案)、覚書を御検討の上、必ず総会の時にお持ち下さい。

尚、出席不可能な方は必ず、委任状をお出し下さい。

楷成学術奨励金、毎日学術奨励金(6月30日提出締切)について応募あるいは推薦希望などありましたら、学会事務局へ用紙請求をして下さい。